

くさのクローバー新聞

滲出性中耳炎

滲出性中耳炎とは、鼓膜の奥に液体がたまる中耳炎です。

急性中耳炎とは違い、熱や痛みはなく、鼻水が多い時に起こりやすいです。

液体がたまると、外からの音が鼓膜から内耳に伝わりにくくなり、聞こえが少し悪くなります。

滲出性中耳炎はいつ頃に治るか予測が難しいです。

1週間で治る事もあれば、3ヶ月頑張って治療しても治っていない事があります。

△治療方法▽

- ・鼻水を吸引し、耳に通じる鼻の中をきれいにする。
- ・鼻から耳へ空気を送る
- (空気を送ることによって、たまたま滲出液を出しやすくする)
- ・ネブライザーによる鼻の治療
- ・お薬を内服する

治りが悪い場合は、鼓膜に小さな(2ミリ程度)穴を開け

液体を出す、鼓膜切開術や、鼓膜チューブ挿入術が必要になります。

鼻水が増えたり、風邪を引くと急性中耳炎になる事がありますので、体調管理が重要です！！

寒くなつきましたが、体調管理をしつかりして、

おしほりの機械が導入されました。給水器の近くに設置しております！ぜひみなさま、ご利用くださいませ(^^♪

舌下免疫療法の予約受付は
11/30、鼻レーザーは12/26まで
となっています！
ご希望される方はお気軽に
スタッフまでお声かけください
(^〇^)！



 くさの耳鼻咽喉科

〒843-0001

佐賀県武雄市朝日町大字甘久1287(メリーランド武雄内)

制作者：東島ひな、福母みゆき、徳村ひな、古賀

インフルエンザの予防接種予約が始まりました！

朝晩肌寒くなり、インフルエンザが流行する時期になつてきました。インフルエンザの流行は日本の例年によると1月から3月ごろに短期間で多くの人へ感染します。予防方法の1つとして流行前のワクチン接種があります。

これは、感染後に発病する可能性を低減させる効果とインフルエンザにかかった場合の重症化防止に有効と報告されています。

ワクチン接種による効果が出現するまでに2週間程度を要するところから、早めにワクチン接種を終えることが望ましいことが考えられます。

ここで接種回数について説明します！

- ① 6ヶ月以上13歳未満の方は2回接種
- ② 13歳以上は1回接種となります。

当院でもインフルエンザワクチン予防接種を行えます。完全予約制となるので、早めのご予約をお願いいたします。

厚生労働省HPより